nosmosis research 2026

Dwelling in Gradation



グラデーションのあいだに

January 16 – 17, 2027

Goethe-Institut Tokyo



nos = ラテン語で“わたしたち”
N.O.S = Not Otherwise Specified
(どこにも特定されない)
osmosis = 浸透する

どこにも特定されない、
様々な“わたしたち”が交差する。
何かがゆっくりと浸透し、
“わたしたち”の範囲が、少しずつほどけてゆく—

表裏の写真：©宮井優

nosmosis research 2026

グラデーションのあいだに

湯浅永麻を中心としたnosmosis researchは、ダンスを介して「他者と関わる」ことで生まれる対話や気づきを見つめるリサーチプロジェクトです。ダンサー及びダンス経験のない方々を対象に、2022年から定期的に実施しており、今年で5年目を迎えました。

昨年から始めたクロス・コミュニティ・ラボ（CCL）では、コミュニティに開かれた活動に関心のある将来の担い手を対象に、レクチャーやワークショップ、ディスカッションなどを通して、場づくりや新たな関係性の構築について考え、試行を重ねてきました。
今回は、湯浅永麻が5年間の活動を通して得た気づきをCCLメンバーと共有し、それを手がかりとして創作したショーイングです。ダンサーと観客、自己と他者。自分の立ち位置が変わることで、見えるものや感じることも変わっていきます。そのグラデーションのあいだを行き来するとき、どのような情景が立ち上がるのでしょうか。

そのとき、その場に集まった人たちとしか生まれない時間と空間を、みなさんとともに過ごすひとときです。

湯浅永麻（Ema Yuasa）
ダンサー・振付家。ネザーランドダンスシアターに11年間所属。2016年にフリーとなり様々な著名アーティストからのオファーを受けダンスや演劇など世界中で公演する一方、自らもジャンルを超えた数々のアーティスト達とのコラボレーション作品を発表。第13回、15回日本ダンスフォーラム賞を受賞。また注目を集めるダンスメソッド、カウンターテクニックの講師資格を日本人として初めて取得し、若手育成や現役ダンサーへの指導にも力を入れている。2022年よりnosmosis researchを主宰。2026年より公益財団法人 セゾン文化財団フェローII。さいたま国際芸術祭2027 アートプロジェクト・ディレクター。
https://www.emayuasa.com



©藤田亜弓

公演日：2027年1月16日（土）17：00
2027年1月17日（日）14：00
会場：ゲーテ・インスティトゥート東京（東京都港区赤坂7-5-56）
対象：どなたでも　定員：80名

チケット：　一般＝¥3,500
U24 / O65 / 港区在住・在学・在勤＝¥3,000
在留カード* / 障害者手帳お持ちの方＝¥2,500
＊割引対象の方は当日受付にて証明書をご提示ください。
＊提示できるものがない場合にはメールにてお問い合わせください。

チケット発売開始：2026年11月20日（金）
Peatix：https://nosmosis2026-showing.peatix.com
＊The explanations in English are available on the ticket page.

▌同時開催：展示
映像ディレクターの宮井優が追ったこれまでのnosmosisの歩みを映像インスタレーションとして展示します。
展示映像演出・構成：宮井優
会場：ゲーテ・インスティトゥート東京 ホワイエ
日程：2027年1月16日（土）、17日（日）12:00–18:00

ディレクション：湯浅永麻
出演：湯浅永麻、上田園乃、青柳紀香、今泉かなこ、ナクテモ///大迫健司、近藤彩香、斎木穂乃香、樋笠理子、野村茉結（予定）
技術協力：遠藤豊（LUFTZUG）/ 宣伝美術：林琢真
制作：元行まみ / 制作協力：宮久保真紀

主催　：nosmosis実行委員会
助成　：アーツカウンシル東京［芸術文化による社会支援助成］、
（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団［キスポート財団］、
公益財団法人 セゾン文化財団
協力　：SHIBAURA HOUSE、ゲーテ・インスティトゥート東京、
NPO法人 芸術家と子どもたち

詳細：https://www.emayuasa.com/#nosmosis
お問合わせ：info.nosmosis@gmail.com
080-7856-0120（平日 11:00–18:00）